別紙3

☑ ソフト事業のみ　☐ ハード事業を含む

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度　５年度

市町村名	春日部市					
提案事業名	武里駅西口エリアリノベーションまちづくり事業					
事業期間	４年度　～　５年度					
成果指標	（成果を検証する指標） ①事前講演会の参加人数 ②事前講演会参加者の実践型ワークショップへの参加意向					
	（成果検証の具体的な方法） ①事前講演会参加人数の把握 ②事前講演会参加者のうち実践型ワークショップへの申込み人数の割合					
	（成果の目標値に対する実績）				**達成度**	**①A ②C**
	従前値 （4年4月時点）	０人	目標値 （5年4月時点）	①各100人（50人×2回） ②20%	**実績値** **（5年4月時点）**	**①244人 ②10%**
	（施設建設等の場合の実績）					
	年間利用者数（人）	（目標） （実績）		稼働率（%）	（目標） （実績）	
	住民への公表状況及び特記事項	市のホームページにて公表				

【事業効果の整理・原因分析】

令和4年度　構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 武里駅西口エリアリノベーションまちづくり事業	○	実践型ワークショップを開催し、空き店舗や公共空間の遊休不動産を活用する事業計画を作成し、事業化に結び付けることで、エリアの価値を高め、賑わいの創出を図る。
②	○　△　×	
③	○　△　×	
④	○　△　×	
⑤	○　△　×	
⑥	○　△　×	

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	各事業予定者が空き店舗の活用について、ワークショップや社会実験を行い、事業の検証をしている。また、実施のエリアにおいて、地元商店街と連携を取りながら、イベントに参加するなど、まちに対して賑わいの創出に寄与している。
実施事業について 成果が不十分である点	事前講演会の参加者数が、想定を大幅に超えたため、申し込み人数の割合から換算すると、不十分になってしまった。

成果検証を踏まえた 今後の改善策	まちづくりにおいて、事業者が生まれており、事業化に向けて動き出しており、賑わいの創出に寄与していると言える。今後においては、エリアの価値向上に向けて、継続的に取り組みを行う。 ワークショップの参加人数については、申込者数が予定以上となっているため、今後の指標について、適切な指標を設定する。

（記入上の注意）

【成果指標の達成状況】

・達成度（A・B・C）の判断基準は次のとおりとする。

「達成度A」　目標値に対する実績値の伸び率が８０％以上の場合

実績値≧（目標値－従前値）×80%＋従前値

「達成度B」　目標値に対する実績値の伸び率が６０％以上８０％未満の場合

（目標値－従前値）×60%＋従前値≦実績値＜（目標値－従前値）×80%＋従前値

「達成度C」　目標値に対する実績値の伸び率が６０％未満の場合

実績値＜（目標値－従前値）×60%＋従前値

【事業効果の整理・原因分析】

・事業効果（〇・△・×）の判断基準は次のとおりとする。

「事業効果〇」　事業効果の発現が十分に認められる

「事業効果△」　事業効果の発現が多少認められるが、不十分な点がある

「事業効果×」　事業効果の発現がほとんど認められない